

保存版

医学系研究科
看護学専攻
博士後期課程

2026年度

履修要項
スタートガイド



目次

学年暦.....	3
大学の理念・使命	4
教育目標.....	4
大学の三つのポリシー.....	4
看護学専攻博士後期課程の概要	5
看護学専攻博士後期課程の構成	5
01 履修要項	
授業科目の履修方法	6
成績評価.....	6
既修得単位の認定	6
研究デザイン発表会	6
研究基礎力試験（QE）	7
修了要件・学位授与	7
学位審査	7
在学期間	7
進級・休退学等.....	7
長期履修制度.....	8
カリキュラムツリー	9
02 科目・担当教員一覧	10
03 教員の主な研究内容	11
04 科目ナンバリング	12
05 主な規程等.....	12
06 スタートガイド	
新入生やることリスト	13
各種チュートリアル.....	14

令和8年度 医学系研究科看護学専攻博士後期課程 学年暦

日付	行事
2026年4月2日(木)	入学宣誓式・新入生履修指導
4月3日(金) ～ 8月5日(水)	前期授業
8月6日(木) ～ 9月30日(水)	夏季休業
10月2日(金) ～ 2026年2月15日(日)	後期授業
10月～2月(詳細な日時は未定)	研究基礎力試験(QE)
10月24日(土) ～ 10月25日(日)	学園祭(若鮎祭) ※授業は休講
2026年12月26日(土) ～ 2027年1月3日(日)	冬季休業
2月17日(水) ～ 2月19日(金)	学位論文研究発表会
3月3日(水)	研究デザイン発表会
2月16日(火) ～ 3月31日(水)	春季休業
3月18日(木)	学位授与式(春季)

[備考]

- 1) 定期健康診断の日程は、別途通知します。
- 2) その他、学年暦に変更があった場合は、その都度通知します。

大学の理念・使命

理念

滋賀医科大学は、地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与する。

使命

大学院は、医学及び看護学の領域において、優れた研究者及び高度な知識と技術をもつ専門家を養成することを目的とし、もって、医学及び看護学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを使命とする。(国立大学法人滋賀医科大学大学院学則第2条より抜粋)

教育目標

医学系研究科看護学専攻博士後期課程では、修士課程（博士前期課程）で修得した高度な専門性とリーダーシップを発揮し、看護学の発展と人々の健康の向上に寄与することができる能力を基盤として、次のとおり博士後期課程での教育を目指します。

人の生涯発達と健康課題を理解し、科学的なエビデンスに基づく看護ケアの実践の創出をすること、病院から地域医療につながるため、健康課題の解決に向けたコミュニティケアと看護管理の視点に基づく持続可能なケアシステムの創成を探究する研究を行い、その成果を社会へ実装できることを教育目標とします。

大学の三つのポリシー

①アドミッション・ポリシー

求める学生像

次のような人材を求めています。

1. 臨床や地域において、医療・看護を必要とする対象の健康課題やヘルスケアシステムについて、個性性と地域性の両面から看護のあり方を客観的理論に基づいて探索・検証することに積極的に取り組み、努力を惜しまない者
2. 国内・海外の研究論文を読み解く基礎的な読解力と語学力を有し、国際的視点から研究や臨床、地域医療における課題を発見できる能力を有する者
3. 博士後期課程修了後、看護実践指導者、看護学教育者、看護学研究者として活躍する意欲があり、論理的思考力、表現力を兼ね備え看護学の発展に努力を惜しまない者

②カリキュラム・ポリシー

看護学専攻博士後期課程の教育課程は、「生涯発達看護実践科学部門」「ケアシステム創成看護科学部門」の2部門の基盤を培う「部門別専門科目」、研究課題に関する学術活動を遂行するための知識を構築していく「共通科目」、学位論文に取り組む「特別研究科目」で構成します。

教育課程における教育・学修方法に関する方針

1. 看護の対象である個人及び個人を取り巻く地域等の環境に関わる健康課題について、生涯発達理論、ケアシステム創成に着目し、看護支援や多職種連携の重要性を探索するための科目を置く。
2. 再現性のある客観的理論に基づいた看護ケアのエビデンスを個人・地域・社会等へ実装し、系統的に発展させる方法を学修するための科目を置く。

3. 生命倫理・医療倫理・研究倫理に依拠した看護学研究を遂行し、その成果を国内外に発信することを学修するための科目を置く。

学修成果の評価の方針

生涯発達看護実践科学部門、ケアシステム創成看護科学部門で実施する教育課程では、その発展と改善のために、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づき、大学レベル・教育課程レベル・科目レベルごとに下表の項目を定期的に評価します。

(1) 大学レベル

研究計画書、留年率、休学率、退学率、学生生活実態調査、学位論文、学位授与数、就職率等から、大学院での学修成果の達成状況を評価していく。評価結果については、本学大学院の現状把握、全学的な教育改革・改善、学生・学習支援の改善等で活用する。

(2) 教育課程レベル

研究計画書、留年率、休学率、退学率、単位取得状況、学位論文、修了要件の達成状況等から、教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を評価する。

(3) 科目レベル

シラバスに提示された授業科目の目的や到達目標の達成状況（試験、単位認定）、授業評価の結果等から、科目ごとの学修成果の達成状況を評価する。

③ディプロマ・ポリシー

看護学専攻博士後期課程では、所定の期間在学して所定の単位を取得するとともに、学位論文審査に合格し以下の要件を満たした者に博士（看護学）を授与します。

1. 個人及び地域の健康課題の解決に向けて、独創性のある看護学研究を行うために修得した知識・方法論を活用できる
2. 個人及び地域の健康課題への取り組みを体系化でき、研究知を実践知に転化するために必要な高い能力を身につけている
3. 確固たる倫理観を持ち、自立して研究を推進し、世界に向けて研究成果を発信することができる能力を有している

看護学専攻博士後期課程の概要

教育研究上の目的

看護学専攻博士後期課程は、高度な知識と技術をもち、幅広い学識を備えた看護学の発展に寄与できる研究者・教育者・実践者を輩出することを教育理念とします。

また、多様な看護実践上の課題、医療資源や看護ケアサービスの地域格差の課題を解決するための科学的方略を教授することにより、看護の対象者の健康・療養を支援するための最善のエビデンスを創出し、その成果を臨床応用できる人材、またはケアシステムを創成できる人材を育成することで看護実践科学の発展と地域医療の質の向上を通じて広く社会へ貢献することを目的としています。

長期履修制度

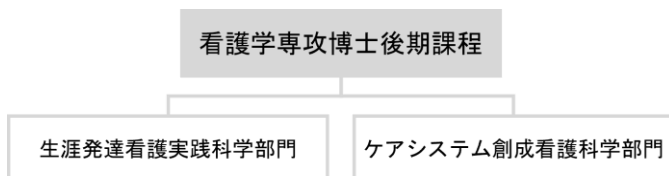
職業を有している等の事情により、修業年限（3年）を超えて一定の期間（4～6年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを願い出たときは、審査によりこれを認めることができる制度を設けおり、入学時又は第1学年在学時の定められた時期に願い出ることができます。

教育方法の特例

本学大学院医学系研究科では、大学院設置基準（昭和49年6月20日文科省令第28号）第14条に係る教育方法の特例を適用し、有職者が離職することなく修学し、教育・研究指導を受けることが可能になるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に授業・研究指導を行なうよう配慮しています。

看護学専攻博士後期課程の構成

看護学専攻博士前期課程は、次のような構成になっています。



生涯発達看護実践科学部門

「生涯発達看護実践科学」とは、多様な健康課題を抱える対象者を生涯発達する人として捉え、科学的研究手法に基づく提言により切れ目ない看護実践の確立を目指し、一人ひとりの生涯にわたる最善の健康・療養支援のあり方を探求する看護学と定義します。

看護の対象者を生涯発達する人として捉える意味を理解し、切れ目ない看護を展開する生涯発達看護実践科学部門は、人々にとって最善の健康状態を実現するための看護のあり方を示すことができる人材を育成することを目標とし、対象者が有する健康課題から病態を理解し必要な看護ケアに関する知見を蓄積した後、広く社会への還元ができることを目指します。すなわちエビデンスの実践応用として位置付けられる「研究者から臨床家へ」「臨床家から対象者へ」の過程に対応可能な研究者の育成を実現していきます。

ケアシステム創成看護科学部門

「ケアシステム創成看護科学」とは、看護の対象者である個人の健康を環境との相互作用を含めて理解し、健康課題の解決に向けて科学的な手法を用いることにより、コミュニティケアと

看護管理の視点から、持続可能なケアシステムの創成を探究する看護学と定義します。

ケアシステム創成看護科学部門は、病院、施設、地域の垣根を越えて、人々が生活を営む場の特性に応じたケアシステムの在り方を示し、広く社会に発信できることを目指しています。健康課題の解決に向けて、住民、保健・医療・福祉専門職、行政などの地域社会を構成する多様な人々と協働してケアシステムの創成を探究し、その成果を社会へ実装できる研究者の育成を実現していきます。

01 履修要項

授業科目の履修方法

科目・担当教員一覧は p.10～ >

● 生涯発達看護実践科学部門・ケアシステム創成看護科学部門

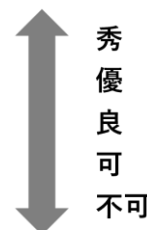
区分・部門・領域	修了要件単位数			【履修モデル】		
	必修	選択必修	選択	1年次	2年次	3年次
共通科目	3 単位	—	2 単位以上	共通科目 5単位・特別研究科目 6単位		
部門別専門科目	5 単位	—	—	部門別専門科目 5単位		
特別研究科目	6 単位	—	—	研究デザイン 発表会	QE	学位論文 出願 <small>※修了要件を満たす(見込みである)こと</small>
合計	16 単位以上			学位授与		

共通科目の必修 3 単位、選択科目から 2 単位以上、部門別専門科目の必修 5 単位、および特別研究科目である看護学特別研究 6 単位の、合計 16 単位以上を修得してください。

成績評価

各授業科目の成績は、試験やレポート等の多面的な評価方法により以下の 5 段階で評価され、可以上を合格とします。「秀」「優」「良」「可」以外の評価がなされた科目は、次年度に自動的に履修登録されます。必ず再履修してください。

履修登録状況及び成績は、学生用 WEB サービスで確認してください。学生用 WEB サービスの利用方法は、**スタートガイド** (p.13～) で確認してください。



既修得単位の認定

教育研究上有益と認められるときは、本学の大学院に入学する前に大学院で科目を履修し修得した単位を、本学大学院に入学後、本学大学院における授業科目の単位とみなすことができます。「大学院で科目を履修し修得した単位」には、科目等履修生として修得した単位も含まれます。

申請方法 | 学務課大学院教育支援係に相談する

研究デザイン発表会

研究デザイン発表会とは、各学生が進めている研究を発表する会です。対象学生・発表方法等は、以下のとおりです。

対象学生 | 看護学専攻博士後期課程第 1 学年在籍中の学生

(発表会参加時期については、指導教員と相談してください。長期履修制度を利用する方については、第 2 学年以降に発表しても構いません。)

開催時期 | 毎年 1 回 (3 月頃)

試験方法 | 学生は、自身以外の学生及び教員の前で発表 (約 20 分)、質疑応答 (約 10 分) を行います。

その他 | 開催日程等の詳細については、本学 HP や当該時期に届くメールをご確認ください。

研究基礎力試験（QE）

研究基礎力試験（Qualifying Examination：QE）とは、各学生の研究の進捗状況を評価する試験です。試験方法等は、以下のとおりであり、QEに合格することが学位審査の出願要件の一つとなっています。

対象学生 | 看護学専攻博士後期課程第2学年在籍中の学生

（当課程の研究デザイン発表会にて発表を行った者に限る）

試験方法 | 毎年10～2月に開催。試験は、学生1人と審査員（自身の指導教員以外の教員3名）によって行われ、学生は、審査員の前で発表（約10分）、質疑応答（約20分）を行う。

その他 | 開催日程等の詳細については、本学HPや当該時期に届くメールをご確認ください。

本学HP | <https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/information-for-graduates>

（本学HP>教育・学生支援>教育>大学院教務情報）

修了要件・学位授与

看護学専攻博士後期課程の修了の要件は、当課程に3年以上在学し、上記履修方法により16単位以上を修得し、かつ、研究基礎力試験（QE）に合格し、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験（＝学位審査）に合格することとしています。これらの修了要件を満たした学生には、「博士（看護学）」の学位が授与されます。

学位審査

看護学専攻博士後期課程の最終学年に在学し、かつ、修了要件単位を修得したら（見込みでも可）、当該学位審査に出願が可能です。

学位審査の詳細（出願方法・日程等）については、今後本学HPに掲載予定です。

在学期間

標準修学年限は3年です。在学年限は、一般入学者が6年、社会人入学者が9年で、この期間を超えて在籍することはできません。

進級・休退学等

進級

進級は各学年における在学年限を満たしている場合に、年度始め（後期入学者の場合は後期）にのみ認められます。前期入学者の場合、後期に進級することはできません。休学した場合は、次年度は進級できませんが、半期休学の場合には過去の在学状況により進級できる場合があります。

休学

休学を希望する場合は、休学願を提出してください。一度に申請できる休学期間の上限は1年で、もう1年を限度としてその期間を延長できます。休学期間は、通算3年を超えることはできません。なお、休学期間は在学期間に算入されません。申請した休学期間が終了すると、自動的に復学となります（このとき、復学願の提出は不要です）。ただし、傷病により休学した場合は、医師の診断書を添付した復学願の提出が必要です。

休退学等の手続き期間

休・退学、海外留学、国内留学等、身分異動に係ることについては、受入先機関や本学の関係委員会の承認を得るなどの手続きが必要です。指導教員に相談の上、遅くとも希望日の1ヶ月前には（留学等受け入れ先がある件については、可能な限り早い時期に）申し出てください。

長期履修制度

長期履修制度とは、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度です。

適用申請は1年単位で可能です。この制度を利用した場合、修業年限（修了するために必要な学修期間）は、原則4～6年となります。在学年限（在学できる最大の期間）は、長期履修制度の利用如何に関わらず6年です。ただし、社会人入学者（在学途中での大学院設置基準第14条特例適用者含む。）の在学年限は9年です。また、授業料は、2年次・3年次分の授業料を残りの在学期間（3～5年間）で納付していただきます。

申請方法 | 長期履修申請書〔様式〕と、長期履修規程第2条各号のいずれかに該当することを証明できる書面（在職証明書又は就業が確認できる書類、その他理由書等）を、学務課大学院教育支援係に提出する。

申請時期 | 1年次2月の定められた期間のみ。

なお、長期履修制度の適用期間は、6ヶ月又は1年単位で短縮可能です。期間を短縮する場合は、授業料（年額×3年分）から、既に納付済の授業料を減じた額を残りの在学期間に応じて納付していただきます。

申請方法 | 長期履修期間変更申請書〔様式〕を、学務課大学院教育支援係に提出する。

申請時期 | 2月、8月の定められた期間のみ（ただし、修了予定時期の半年前までに申請すること）。

注意 | 在学中、履修期間の変更ができるのは1回限りです。

看護学専攻博士後期課程 カリキュラムツリー

学位授与

【DP1】 個人及び地域の健康課題の解決に向けて、独創性のある看護学研究を行うために修得した知識・方法論を活用できる。

【DP2】 個人及び地域の健康課題への取り組みを体系化でき、研究知を実践知に転化するために必要な高い能力を身につけている。

【DP3】 確固たる倫理観を持ち、自立して研究を推進し、世界に向けて研究成果を発信することができる能力を有している。



3年次

博士論文
(看護学特別研究)

2年次

全領域(共通)

(必修)
グローバルコミュニケーション論
医療倫理学

(選択)
看護教育学 他

生涯発達看護
実践科学部門

(必修)
生涯発達看護実践科学特論
看護病態管理学特論
NCD看護疫学特論
科学的根拠と看護実践

全領域(共通)

(必修)
グローバルコミュニケーション論
医療倫理学

(選択)
看護教育学 他

ケアシステム創成
看護科学部門

(必修)
コミュニティケア特論
看護管理学特論
ケアシステム創成看護科学特論
ケアシステム創成看護科学演習

Q E

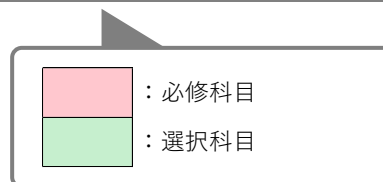
1年次

生涯発達看護
実践科学部門

ケアシステム創成
看護科学部門

02 科目・担当教員一覧【2026年度】

区分 領域/部門	科目名	形態 種別	配当 年次	期別	単位数	担当教員	ナンバ リング	
共通 科目	グローバルコミュニケーション論	講義	1-2	通年	2	加藤	ND1-001-2	
	医療倫理学	講義	1-2	通年	1	加藤	ND1-002-2	
	看護教育学	講義	1-2	通年	1	河村、玉木	ND1-003-2	
	看護医療統計学	講義	1-2	通年	2	原田	ND1-004-2	
	保健医療行政論	講義	1-3	通年	2	三浦	ND1-005-2	
部門別 専門科目	生涯発達 看護実践 科学部門	生涯発達看護実践科学特論	講義	1	前期	2	立岡、宮松、荻田、山口	ND2-001-3
		看護病態管理学特論	講義	1	前期	1	馬場、漆谷、丸尾、辻俊	ND2-002-3
		NCD看護疫学特論	講義	1	後期	1	宮松、三浦	ND2-003-3
		科学的根拠と看護実践	演習	2	前期	1	荻田、宮松、立岡、山口	ND2-004-3
	ケアシス テム創成 看護科学 部門	コミュニティケア特論	講義	1	前期	1	辻村、伊藤美	ND3-001-3
		看護管理学特論	講義	1	前期	1	笠原	ND3-002-3
		ケアシステム創成看護科学特論	講義	1	後期	2	伊藤美、辻村、笠原	ND3-003-3
	ケアシステム創成看護科学演習	演習	2	前期	1	伊藤美、辻村、笠原、河村、玉木	ND3-004-3	
特別研究科目	看護学特別研究	演習	1-3	通年	6	各指導教員	ND4-001-3	



03 教員の主な研究内容

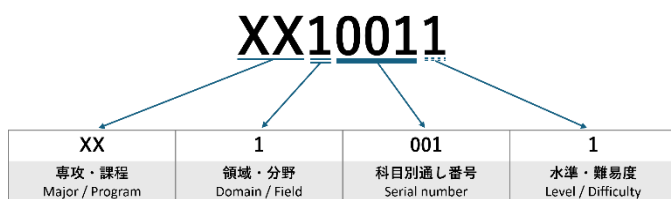
2026年4月1日現在

所属	職名	教員氏名／主な研究内容
生涯発達看護実践科学部門		
	教授	立岡 弓子 1. 母乳育児や乳房ケアに関する研究（母乳免疫と心身相関、卒乳・断乳ケア、不快性射乳反射とうつなど） 2. プレコンセプションケアを中核にすえた思春期教育に関する研究 3. 産後メンタルヘルスケアに関する研究 4. 出産ストレスと母子相互作用に関する研究
	教授	宮松 直美 1. 脳卒中・循環器病の予防・管理に関する研究 2. 糖尿病の療養行動・合併症予防に関する研究 3. 受診行動及び医療費に関する研究 4. 喫煙・禁煙等生活習慣に関する研究
	准教授	萩田 美穂子 1. 高齢者のフレイル・要介護予防に関する研究 2. フレイルハイリスク集団（糖尿病・筋萎縮性側索硬化症・パーキンソン病など）に対する生活機能維持・向上に関する研究 3. フレイルハイリスク集団（高齢者・慢性疾患患者）に対する在宅療養移行支援に関する研究
	教授	喜多 伸幸 1. 母体と胎児の予後改善を目指した産科危機的出血の早期対応に関する研究 2. 母体出血時における周産期予後とチーム医療の評価 3. 産科における出血性疾患の病態と母体管理状態のアウトカムに関する研究
	教授	馬場 重樹 1. 各種疾患の栄養状態とアウトカムに関する研究 2. エネルギー代謝に関する研究 3. 経腸栄養に関する研究 4. チーム医療のアウトカム評価 5. 栄養成分と腸内環境に関する研究
ケアシステム創成看護科学部門		
	教授	笠原 聡子 1. 患者有害事象の早期発見など予防・管理に関する研究（院内迅速対応システム[RRS]、転倒リスク評価、薬剤業務エラー、静脈炎発症予測、採血合併症など） 2. 看護業務に関する研究（タイムスタディ、医療情報・アクセスログなど） 3. 組織のレジリエンス・エンジニアリングに関する研究（機能共鳴解析手法[FRAM]、薬剤業務フローなど） 4. 看護学生と看護職のストレスおよびレジリエンス特性に関する研究
	教授	伊藤 美樹子 1. 終末期高齢者の看取りに関する研究（エンドオブライフケア、医療介護ニーズを伴う高齢者の看取りケアの提供体制） 2. 健康課題を持つ当事者と家族のQOL・エンパワメントに関する研究（血友病患者と保因者・保因者の可能性をもつ女性、てんかん、要医療介護者、育児支援） 3. ヘルスサービスとコミュニティヘルスに関する研究（がん検診、介護保険サービス、公衆衛生看護活動）
	教授	辻村 真由子 1. 家族看護を基盤とした在宅看護 2. 地域における多職種連携・訪問看護師育成の体制構築に関する研究 3. 在宅ケアロボットの活用に関する研究（国際比較研究を含む）
	教授	河村 奈美子 1. 患者―看護師関係、コミュニケーションに関する研究（臨床看護実践および教育場面、精神的ケアにおける人間関係構築、コミュニケーションの探求） 2. 虐待を受けた子どもの精神的支援に関する研究 3. 発達障害をもつ子どもや精神疾患、認知症を有する対象者に対する補完的療法（乗馬療法・動物を介在療法）に関する研究

04 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。本学では、次のように科目ナンバリングを構成しています。



●専攻・課程

NM	看護学専攻博士前期課程
ND	看護学専攻博士後期課程

●領域・分野

看護学専攻博士前期課程

1	全領域
2	特定行為
3	生涯発達看護実践科学部門
4	ケアシステム看護科学部門
5	専門看護師領域
6	特定行為領域
7	看護管理領域
8	研究科目

看護学専攻博士後期課程

1	共通科目
2	生涯発達看護実践科学部門
3	ケアシステム創成看護科学部門
4	特別研究科目

●科目別通し番号

3桁 001～

●水準・難易度

1	入門
2	専門基礎
3	専門応用
4	専門総括

05 主な規程等

この冊子に掲載する情報の多くは、滋賀医科大学が定める規程等に基づいています。以下に、代表的な規程等を列挙します。なお、これらの規程等の内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

●国立大学法人滋賀医科大学学則

<https://www.shiga-med.ac.jp/~hqkouhou/files/rules/gakusoku.pdf>
(本学 HP トップ>大学紹介>情報公開>教育情報の公開)

●国立大学法人滋賀医科大学大学院学則

<https://www.shiga-med.ac.jp/~hqkouhou/files/rules/daigakuinagakusoku.pdf>
(本学 HP トップ>大学紹介>情報公開>教育情報の公開)

06 スタートガイド

新入生やることリスト

医学系研究科看護学専攻博士後期課程に入学した学生は、次ページ以降の案内を参考にしながら、以下のリストに挙げられたことを行ってください。なお、*印が付いている項目は、入学式・新入生ガイダンスの日に、全員で行います。当日欠席した場合は、下記の担当部署にて指示を仰いでください。

入学後すぐ
<input type="checkbox"/> メールアドレスを作成する*
<input type="checkbox"/> VPN の設定を行う
<input type="checkbox"/> 研究指導計画書を読む
<input type="checkbox"/> 履修登録を行う
<input type="checkbox"/> 健康診断を受診する < 5 月 >
履修届提出後
<input type="checkbox"/> 履修中の科目を確認する
<input type="checkbox"/> 履修登録した科目の担当教員に連絡する
<input type="checkbox"/> 授業に出席する
学期終了後
<input type="checkbox"/> 成績を確認する（学生用 WEB サービス）
必要なとき
<input type="checkbox"/> 各種証明書の交付を依頼する

【担当部署】

- メールアドレスの作成 マルチメディアセンター（附属図書館 1 階）
- 健康診断の受診 学務課学生支援係（一般教養棟 1 階、学務課 4 番窓口）

VPN 接続する

VPN とは、インターネット上に仮想の専用線を設定し、特定の人のみが利用できる専用ネットワークのことをいいます。滋賀医科大学の学内ポータルシステムや、e-Learning システムに学外からアクセスするには、以下の案内に従って VPN 接続の設定をする必要があります。

1. VPN サービスの設定を行う

本学マルチメディアセンターによる各種 OS 別の導入マニュアルに従って、設定を行う。

導入マニュアル URL はこちら：<https://www.shiga-med.ac.jp/mmc/service/vpn/>

(本学マルチメディアセンターHP>VPN サービス>VPN クライアント導入マニュアルと CA 証明書)

※設定について、ご不明な点があれば、マルチメディアセンター（附属図書館1階）までお問合せください。

2. VPN 接続する

1. で設定を行った VPN サービスを起動し、学内ポータルシステム等にアクセスする。

研究指導計画書を読む

研究指導計画書とは、指導教員が学生に対してどのような研究指導を行うか、年間計画を明示するものです。医学系研究科の学生は、毎年度始めに研究指導計画書を確認してください。

1. WebClass にアクセスする

大学 HP>在学生の方へ>SUMS e-Learning の順で e-Learning システム「WebClass」にアクセスし、ログインする。

The screenshot shows the university's homepage with a navigation menu. A red box highlights '在学生の方' (For Current Students) and another red box highlights 'SUMS e-Learning (学外からは要VPN)' (SUMS e-Learning (VPN required from outside)). A separate window shows the WebClass login page with a red box around the 'WebClass Login' button. Below this, a login form is shown with fields for 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password), and a 'ログイン' (Login) button. A text box on the right provides login instructions: 'ユーザ名：学内メールアドレスの@より前' (Username: Before @ of internal email address) and 'パスワード：学内メールアドレスのパスワードと同じ' (Password: Same as internal email address password).

WebClass

学外からのアクセスにはVPNサービスへのログインが必要です。
VPNサービスについては、こちらをご参照ください。

WebClass Login

• コース管理者登録 (授業などでコンテンツを作成する場合)
• ログイン/ログアウト方法
• マニュアル

ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ

2. 研究指導計画書を読む

メインページ「参加しているコース」>研究指導計画書>（主指導教員の所属講座）学生確認欄の順にクリックし、計画書の内容を確認する。

The screenshot shows the '参加しているコース' (Courses I am participating in) page. A dropdown menu is set to '2024'. A search box is visible. Below, a list of courses is shown. A red box highlights '研究指導計画書/Research guidance plan' in the list. Another red box highlights the same link in the detailed view of the '生命科学講座 (生物学)' (Department of Fundamental Biosciences, Department of Biology) course. The detailed view shows the course title, a checkbox for '資料' (Materials), and the '利用可能期間' (Available period) from 2024/04/26 12:00 to 2025/03/31 23:59.

参加しているコース

表示する学期
2024 All

検索

大学院博士課程学生・修士課程学生
全学年

> コンサルテーション論 通年 --
> 生物統計学概論 通年 --
> 看護研究方法論Ⅱ 通年 --
> 研究指導計画書/Research guidance plan 2024

生命科学講座 (生物学) / Department of Fundamental Biosciences, Department of Biology

生命科学講座 (生物学) 研究指導計画書/Research guidance plan 更新 実行

資料
利用可能期間 2024/04/26 12:00 - 2025/03/31 23:59

生命科学講座 (生物学) 学生確認欄/Student confirmation field 更新 実行

アンケート
利用可能期間 2024/04/26 12:00 - 2025/03/31 23:59

3. 研究指導計画書の学生確認欄を入力する

メインページ「参加しているコース」>研究指導計画書>（主指導教員の所属講座）学生確認欄の順にクリックし、必要事項を入力（回答）する。

※「学生確認欄」への回答を忘れると、研究指導計画書を確認したこととみなされません。

The image shows a two-part screenshot of a web application. The left part is a sidebar menu titled '参加しているコース' (Courses you are participating in). It includes a search bar and a list of courses. The course '研究指導計画書 / Research guidance plan' is highlighted with a red box and a red arrow. The right part is a main content area for the 'Department of Fundamental Biosciences, Department of Biology'. It lists several resources, including '研究指導計画書 / Research guidance plan' and '学生確認欄 / Student confirmation field'. The '学生確認欄 / Student confirmation field' is highlighted with a red box and a red arrow.

履修中の科目・成績を確認する

科目の履修状況や成績は、専用システム「学生用 WEB サービス」で確認することができます。履修登録が完了したとき、成績が確定したときに、学務課から通知メールが届くので、本システムで内容の確認を行ってください。

1. 学生用 WEB サービスにアクセスする

本学 HP>在学生の方へ>学生用 WEB サービス
の順で、学生用 WEB サービスにアクセスしログインする。

ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ



2. 履修状況を確認する

トップ>Web 履修申請>履修状況表示（一覧）>成績状況参照の順にクリックし、履修中の科目・成績を確認する。

The screenshots illustrate the following steps:

- Clicking on the **Web履修申請** menu item.
- Clicking on the **履修状況表示（一覧）** option.
- Clicking on the **成績状況参照** link.
- Viewing the **学生カルテ-成績情報** page, which contains the following information:

学籍番号	氏名	性別	
所属		在学区分	
学年	セメスター	クラス	出席番号

成績情報								
処理年度	処理学期							
入学日	修了予定日							
科目分類	科目分野	学則グループ	学則科目	教員名	単位数	評価	年度	開講時期

教員の連絡先を調べる

教員の連絡先は、本学の教職員検索システム「Trunk」で調べることが可能です。Trunk では、教員のメールアドレスだけでなく、その所属や職名も確認することができます。

1. Trunk にアクセスする

本学 HP>在学生の方へ>まるとと滋賀医大（学内専用）の順で、まるとと滋賀医大にアクセスし、スタッフ・メールアドレス PHS 検索>Trunk 教職員検索をクリックする。



※学外からまるとと滋賀医大にアクセスする場合は、VPN サービスを有効にした状態でアクセスしてください。VPN サービスの設定については、「1. VPN 接続する」をご確認ください。

2. Trunk にログインする

ログイン画面が表示されたらログインするし、調べたい教員を、名前や所属で検索する。



ユーザ名：
学内メールアドレスの@より前
パスワード：
学内メールアドレスのパスワードと同じ

■ ログイン
ユーザ名
パスワード
ログイン
※ 本学メールアドレスの「メールアドレス」

スタッフ検索 各部署の長 称号授与 学生検索
■ 現員スタッフ & アドレス検索 【所属>職名>勤務形態>発令日】
出向者を除く 休職者を除く 個人id 氏・名 ·
所属区分 所属部署
称号 職員番号 アドレス
検索 リセット
※職名（職員番号）ごとに1件です。職員数等をカウントする

※外国人教員名で検索する際、姓名が反対に登録されていたり、姓名いづれかにミドルネームが含まれる場合があります。この点を考慮して検索ワードをご入力ください。

オンラインで授業に出席する

一部の科目は授業を対面・Zoom によるリアルタイム配信・オンデマンド配信を行うことがあります。以下の案内を参考に、授業に出席してください。なお、Zoom によるリアルタイム配信にて授業に出席する場合、事前に本学の個人メールアドレスを使用し、アカウントを作成する必要があります。アカウントの作成については、マルチメディアセンターHP を確認してください。

1. 授業に出席する【リアルタイム配信】①

本学 HP>教育・学生支援>教育>大学院教務情報の順で、講義室一覧のページにアクセスする。講義室一覧から講義が行われる講義室名をクリック (①) し、Zoom Meeting が開いたら (②③)、Google アカウントでサインイン (④) する。

ユーザ名：

学内メールアドレスの@より前

パスワード：

学内メールアドレスのパスワードと同じ

サインイン後、もう一度、Zoom Meeting へのアクセスを試みる (⑤)。

① 講義室一覧

② このサイトは、Zoom Meetings を開こうとしています。

③ サインインしてこのミーティングに参加する

④ zoom Workplace

⑤ このサイトは、Zoom Meetings を開こうとしています。

2. 授業に出席する【オンデマンド配信】

大学 HP>在学生の方へ>SUMS e-Learning の順で e-Learning システム「WebClass」にアクセスし、ログインする。

メインページ「参加しているコース」内から受けた科目名等をクリックし、受けた授業の動画ページをクリックする。

※WebClass のログイン方法の詳細は、「[研究指導計画書を読む](#)」を参照してください。

The screenshot displays the '参加しているコース' (Courses I am attending) section on the left and a list of video recordings on the right. In the left sidebar, under '全職員' (All staff), the link '> 大学院講義 (医学総合特論等) (2024-通年)' is highlighted with a red box and an arrow. In the main content area, the video recording titled '録画映像 (Recorded video on April 23rd)' is also highlighted with a red box and an arrow. Below this, the course details for '0423 医学総合特論 I (Basic Science Fundamentals & Multidisciplinary Seminars I) Ethics in Science and its importance' are visible, including the video recording link and the 'Research ethics Apr 23' resource.

各種手続きを行う

現在の主(副)指導教員を変更するとき、休学・退学したいとき、転居したとき等には、以下の手続きを行ってください。

種類	申請書類	申請期日	申請先
指導教員変更	主(副)指導教員変更願	変更したい日の15日前	学務課 大学院教育支援係
学籍の異動	休学願・休学期間延長願・退学願	別途メールで通知	
	復学願		
学生情報の登録・変更	旧姓名使用願・通称名使用願	変更したい日の15日前	
	改姓名願		
	住所登録等変更届	転居後すぐ	学務課 学生支援係
その他	海外渡航届	渡航開始日の1カ月前	

1. 申請書類を入手する

申請書類(規定様式)を、学務課窓口でもらうか、本学HPからダウンロードする。

様式：本学HP>教育・学生支援>諸手続・諸証明>諸手続>修学関係の願出、届出等

2. 申請書類を提出する

申請書類に必要事項を記入し、学務課大学院教育支援係(一般教養棟1階 学務課2番窓口)に提出する。

※申請の種類によって、指導教員の押印が必要となります。特に、旧指導教員が退職するときは、お早めに手続きすることをおすすめします。

証明書の発行を依頼する

在学証明書等、教務系の証明書は、学務課に「証明書交付願」を提出することで、交付を依頼できます。交付願提出日から証明書交付までにかかる時間は、通常1営業日です。本学の規定様式で発行する証明書以外のもの（特殊証明書）は、交付願提出日から証明書交付までに5営業日程度かかりますので、時間に余裕をもって依頼してください。

本学の規定様式で発行できる証明書 ※いずれも日本語版・英語版あり

種類	記載事項
在学証明書	入学年月日・専攻名・課程名
学業成績証明書	成績評価（GPAの記載なし）・単位数・履修年度 専攻名・課程名・コース名・入学年月日・修了年月日
修了証明書*	修了年月日・専攻名・課程名
修了見込み証明書	専攻名・課程名（修了予定日の記載なし）
在籍証明書*	在籍期間・専攻名・課程名
学位授与証明書*	学位名・学位記番号・論文題目・学位授与年月日・専攻名・課程名

*印：在学生には交付できない証明書

1. 証明書交付願を入手する

学務課窓口で証明書交付願（規定様式）をもらうか、下記リンク先からダウンロードする。

様式ダウンロードはこちら：

<https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/procedures-and-certificates/certificates-for-students>

（本学 HP>教育・学生支援>諸手続・諸証明>諸証明（在学生）>交付申請様式）

2. 証明書交付願を提出する

証明書交付願に必要な事項を記入し、
学務課大学院教育支援係（一般教養棟1階 学務課2番窓口）
に提出する。

※証明書の種類によっては、別の窓口で提出する必要があります。

※保育園等の申込に使用する就学状況証明書の交付を依頼する際は、指導教員による就学状況証明書もご提出ください。また、就学状況証明書は特殊証明書です。

交付に時間を要しますので、ご注意ください。

※その他、本学の規定様式で発行する証明書以外の証明書の交付を依頼する場合は、あらかじめ学務課大学院教育支援係までご相談ください。